

会 報

昭和53年度 日本醸造工学会大会

昭和53年度の本学会大会は、11月20日から22日までの3日間、日本生命中之島研修所（大阪市北区中之島4-3-43）において開催された。会場は第1会場（講堂）、第2会場（特別教室）、第3会場（第2教室）および第4会場（C教室）の4会場にわかれて213題の発表が行なわれた。すなわち醸造、醸造生産、非炭水化物、生物有機および生物物理化学、殺菌、微生物、酵素および酵素工学、醸造生産、廃液処理、生物化学工学の一般講演と廃液処理、醸造における優良菌株の利用、多糖類の生産と利用、微生物の遺伝育種、酵素工学、醸造動力学とその応用の各シンポジウムならびに石油醸造研究会との石油醸造講演会、文部省特定研究「生物的環境改善技術領域班」との生物的環境改善技術お

よび「日本微生物株保存連盟」との菌類のライフサイクルとその生化学の各シンポジウムを共催で行ない熱心な討論が行なわれた。

大会第2日目は、授賞式および受賞講演が行なわれた。まず、福井会長のあいさつの後、原田授賞選考委員より斎藤賞受賞者の新家 龍氏についておよび永井授賞選考委員より照井賞受賞者の前田嘉道氏についてそれぞれ選考経過および業績について報告があり、福井会長および田口副会長から受賞者にそれぞれ賞牌、副賞（金一封）が贈呈された。

なお、同日午後5時30分より同研修所において180余名参加の懇親会が盛大に催された。



斎藤賞 新家 龍氏



照井賞 前田 嘉道氏

た結果、次の11名を選出した。

福井三郎, 田口久治, 千畑一郎, 岡田弘輔,
大嶋泰治, 清水祥一, 高原義昌, 栃倉辰六郎,
上田清基, 上田誠之助, 山本武彦

ロ 会誌購読料の改訂について：購読料について検討した結果、明年1月から、1冊1,500円（現行1,000円）に改正することにした。

ハ 新入会員の承認について：正会員37人、学生会員23人および賛助会員1社の入会申請について検

討した結果、全員の入会を認めた。

ニ 記念特集号の謝礼について：記念特集号の依頼原稿（和文）の謝礼について検討した結果、別刷100部をもって、謝礼とすることにした。

ホ 版權に関する件：英文誌と同様に和文誌にも版權は本会に帰属することを明記することについて検討した結果、原案通り和文誌にも明記することにした。

評 議 員 会 議 事 録

日 時 昭和53年11月21日(火) 12時～13時

場 所 日本生命中之島研修所（大阪市北区中之島4-3-43）

出席者 阿部 重雄氏 他34名

委任状 19名（総員 60名）

（陪席者）福井 三郎, 田口 久治, 妹尾 四郎, 大嶋 泰治, 高野 光男

定款にもとづき、原田篤也氏を議長に選出し、定足数を確認の上議事に入る。

I 会務報告

イ 庶務関係：田口理事は、資料にもとづいて事業、会議開催状況および会員異動状況について報告した。

ロ 編集関係：大嶋理事は、資料にもとづいて原稿受付状況および投稿数と掲載数について報告した。

ハ 会計関係：高野理事は資料にもとづいて、上半

期の収支決算について報告した。

II 協議事項

イ 次期理事候補者推薦委員会について：細則第8条にもとづき、同委員会の人選について協議した結果、次の3氏を世話人として選出し、委員会の人選を一任することにした。

（世話人）能美良作, 三輪萬治, 山田秀明

照井前会長退任記念事業実行委員会 議 事 録

日 時 昭和53年11月22日(水) 12時～13時

場 所 日本生命中之島研修所（大阪市北区中之島4-3-43）

出席者 福井 三郎, 磯野 正雄*, 上田 清基, 上田誠之助*, 岡田 弘輔, 大嶋 泰治,
尾崎浅一郎, 蔭山 公雄, 黒岩 芳朗*, 鮫島 広年, 芝崎 勲, 妹尾 四郎*,
田口 久治, 高原 義昌, 高野 光男, 高橋 雅弘*, 千畑 一郎, 野白喜久雄*,
蓑田 泰治*, 茂木 正利*

* 印委任状

I 報告事項

資料にもとづいて、寄付募金者名、募金口数、収支決算および記念事業について報告し承認された。

II 協議事項

イ 照井基金の運用について：同基金は長期預金とし、今後の照井賞および副賞にあてることを決め

た。

また、同基金の寄付募金が目標額に達しなかったため、再募金について協議した結果、他の三賞も含めて、今後の情勢をみて再検討することにした。

た。

□ 記念特集号の謝礼について：記念特集号の依頼原稿（和文誌）の謝礼について検討した結果、別刷100部をもって、謝礼とすることにした。